

鞍手町で避難訓練・避難所開設・運営訓練を実施



会場の様子



衣類での簡易担架作成の様子

令和元年12月15日（日）に福岡県及び鞍手町が主催となり、鞍手町の地域防災力向上のため、豪雨災害を想定とした避難訓練・避難所開設・運営訓練が行われました。

災害発生時、まずは自分の命は自分で守ることが鉄則ですが、「体に障害のある方を地域の人々が共助の力で守る。」ことを目的として、約90名の方が参加しました。

私たち消防も国民の生命・身体・財産を守るという使命がありますが、大規模災害等の広範囲にわたる災害が発生した場合には人員等にも限界があり、地域の方々との協力が必要になります。このような訓練を通して地域住民の防災意識の向上を図りたいと思います。